万博特集

〈ご寄稿〉

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
事務総長　石毛（いしげ）　博行（ひろゆき）

万博の準備状況

2025年4月の大阪・関西万博の開幕まで150日を切りました。会場の夢洲では、建設や運営準備が急ピッチで進んでいます。10月13日からは来場日時予約も始まり、Adoさんのオープニングスペシャルライブを始めとして、魅力的なイベントの発表も相次いでいます。世界中から参加する150以上の国々の熱量も大変高く、来春にはいよいよ万博が始まると、日々実感しています。このような準備の進展は、貴会加盟の皆さまを始めとした、多くの方々のご支援ご協力によるたまものです。ここに改めて御礼申し上げます。

「世界と未来を知る」またとない機会

さて、万博と聞いて、皆さまはどのようなイメージをお持ちでしょうか？　かつて1970年の大阪万博がそうであった通り、万博はいつの時代も、「世界と未来を知る」貴重な機会です。大阪・関西万博は「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとし、既に日本の万博史上最多となる170近くの公式参加表明をいただいています。海外パビリオンや各国のナショナルデーを通じて、世界中の「いのちの今」を知ることができる、唯一無二の機会と言っても良いかと思います。

また、未来社会の一端に触れられるのが、13の民間パビリオンと6つの分野で先端技術や社会システムを実装・実証する「未来社会ショーケース」です。日本が誇る未来社会への貢献が、世界中とどのような化学反応を起こすのか、皆さまにも会場で実際に体感していただければ幸いです。

万博はビジネス交流の貴重な機会

21世紀に入り、万博とビジネスの関係も新たな展開を見せています。それは、万博が目指す人類共通の課題解決にとって、ビジネスによる貢献が不可欠だからにほかなりません。近年の万博では、会期中ほぼ毎日行われる公式参加国のナショナルデーに合わせて、各国によるトップセールス外交が繰り広げられます。博覧会協会でも、テーマウィークという、週替わりで世界との対話・交流を深めるプログラムを企画し、万博を契機とした海外とのビジネス交流の発展に努めています。

国際ビジネスに関わる皆さまにおかれましても、このような万博の機会を、関係先の接遇や自社の海外スタッフの研修、さらには社員の方々やそのご家族が、世界や未来を知る貴重な機会としてご活用いただければ幸いです。なお、ご来場に当たっては、ナショナルデーやイベントの日程をイベントカレンダーでチェックの上、お早めに来場日時予約をいただくとともに、万博は会期後半が混むので、できるだけ早期のご来場をお願いしたく存じます。

大阪・関西万博の意義

新型コロナや頻発する紛争、気候変動による環境問題等で、「いのち」を取り巻く環境が年々厳しさを増す中、「いのち」をテーマに掲げ、分断から世界を再びつなげる大阪・関西万博の価値は、さらに高まっています。万博が目指す、より良い未来社会を創り出す人類全体の取り組みにぜひともご参加いただき、世界が半年間、リアルに一堂に会する万博の場を、大いにご活用いただければ幸いです。